

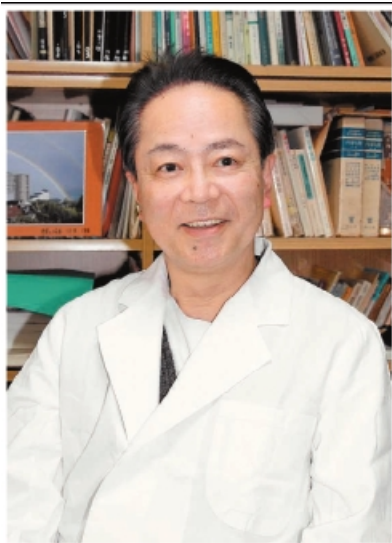
ケアマネジャーの支援体制を整える
別府市介護支援専門員協会理事長



自らが代表発起人となり、2月に協会を立ち上げ、理事長に就いた。別府市には介護支援専門員(ケアマネジャー)の連絡協議会があったが、会員数減少などで2011年に活動を休止。横のつながりが希薄になっていた。「介護支援専門員は忙しく、研修や連携の場もなく孤立しがち。働きやすい環境を整えたい」と抱負を語る。

広島大学医学部卒業後、神経内科医として同大や大分医科大(現

横のつながりと研修重視



安部^{あべ} 明夫^{あきお}さん(61)

大分大医学部)の付属病院などに勤務。認知症研究で知られる米国カリフォルニア大サンディエゴ校への留学を経て1995年、父康三郎さん(故人)の後を継ぎ、安部第一医院(上野口町)院長に就任。「物忘れ外来」を設けた。

地域で20年以上、認知症の患者に寄り添い「認知症は人間らしい病気。人生を背景にした症状が出る。問題行動の原因を見つけるには、生活全般を知る介護支援専門員との連携が重要」と痛感してきた。協会は専門員を支援するため、研修の機会を提供したり、県協会や日本協会とのネットワーク強化にも取り組む。「私たちの声を中央に届けたい」と張り切る。

父の影響で小学生の頃から医師を目指した。「医師になって本当に良かった。患者と共に歩き、人生に関われる素晴らしい仕事」。大分大医学部臨床教授。趣味は水泳とジャズ鑑賞。出身地の市内で暮らす。
(坂本陽子)